



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

考古学

埼玉県には国宝「金錯銘鉄剣」を出土し、国の特別史跡に指定されている埼玉古墳群が所在しており、発掘調査や史跡整備が進められています。屋外での発掘調査は大変な作業ではありますが、教科書にも載るような有名な遺跡を調査でき、現地説明会などでその発見を見学者の方々と共有できる喜びは大きく、とてもやりがいのある仕事です。また、埼玉県には有名な遺跡が他にも多くあり、業務も展示業務・学習支援・文化財保護行政など多岐にわたることから、多様な側面から埼玉の考古学に携わることができる職場です。

一緒に埼玉の考古学を盛り上げてくれる方のご応募、お待ちしております！

歴史

埼玉県の学芸員（歴史）を目指す皆さん、こんにちは！

埼玉県は江戸・東京に近い要地であり、また利根川・荒川の大河、秩父の山岳地帯など自然環境も変化に富んでいます。そうした環境に育まれ、県内各地にはバラエティー豊かな様々な資料が遺されてきました。

採用試験は一般的な知識はもとより専門的な知識も問われ、また範囲も広く大変ではありますが、その過程のなかで見たい、展覧会に使ってみたい資料などとも巡り合えるはずです。

学芸員となった未来像を糧として、是非頑張ってください！

自然

自然系学芸員は身近に生えている草花や木、石などを自ら集め、標本化します。つまり、博物館に収蔵する資料自体を自身で作成する点が他の分野と異なります。

地道な調査・研究活動は自然系学芸員の準備運動と言えるものです。しっかりとしゃがみこまないと大きくジャンプはできません。

埼玉県は、こうした準備運動の成果を展示や出版物、文化財指定など様々な方面に反映できる環境が整っています。

一緒に埼玉県の自然の“今”を切り取り未来へつないでいただける方、お待ちしております。

美術

採用後に配属された近代美術館は、埼玉ゆかりの作家から海外の作家まで、近現代美術の幅広いコレクションを所蔵しています。学芸員の仕事の1番の魅力は、こうした美術作品や資料に直に触れ、携わることができることだと思います。

また、展覧会の準備は企画から調査、出品交渉、図録の制作など大変なことが多いですが、とてもやりがいがあります。埼玉県美術分野は若手の学芸員が多く、提案した企画や自由な発想を受け入れてくれる職場だと思います。近年は、若いアーティストの紹介も積極的に行っています。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。